

大分教育事務所訪問 63

大分市立明治北小学校に学ぶ

学校経営から学ぶ

学校の教育目標「夢に向かって、学び合い、認め合い、鍛え合い、たくましく生きる子どもの育成」を達成するために、めざす子ども像「伸びる子・優しい子・強い子」と設定しています。そして、一人一人が輝く教育活動を実践するために、「資質・能力の3本柱」を重点目標として、それぞれの重点的取組、取組指標を定めています。

今後は、協議の際に確認した「負けない力、粘り強く最後まで挑戦する力」等、学校として育成を目指す（教科横断的な）資質・能力を焦点化することで、教職員のベクトルが揃い、4部会やプロジェクトチームの協働的な実践やカリキュラム・マネジメントが推進されると思います。また、学校の上位目標がより明確になることで、保護者・地域の方と共通理解が図られ当事者意識がより高まると思われました。

授業から学ぶ

2年3組の幸野教諭から以下の3点を学びました。

①適度に難しい課題だから子どもの意欲や共同した学びが生まれる

最初は音声のみで課題を与えたので、子ども達は集中して聴いていました。

「分かった」「全くわからない」という声もありましたが、友達の考えを聞いて「どちらも考えられる」「『しばらく行って・・・』の言い方がよくない」と、本時の課題に迫るような発言もありました。指導案にとられることなく、子どもの発言から授業を組み立てても良いかと思いました。

②課題を子どもと共につくる

「どうすればわかりやすくなるかな」という課題は、まさに子ども達と共につくる授業ですね。説明するときには、内容が多すぎてもわかりにくいので、どの言い方が良いかをみんなで協議するような納得解を求めることは、これから求められる資質・能力ですね。このやり方は、算数等でも有効ですね。

③「つぶやき」と「発言」をわけている

子ども達は、それぞれ自分の考えをつぶやいたり、その意見に反応をしていました。また、適度に短時間の学び合いを取り入れることで、全員の子供達が参加していました。大切なことは、発言をするときは、拳手をさせ椅子を入れて「～です」等公の言葉を使うように指導をしています。このことで、聞く側も静かにすることができ、授業にメリハリが生まれますね。これこそが授業規律の目的ですよ。

安全・安心な教室環境と課題の工夫の大切さ、児童へ対する美点凝視の視点等多くの事を学びました。ありがとうございました。



NO.284 2021年9月 明治北小学校

学び合い

友達の考えを聴くと、考えが異なったり、同じ結論でも理由が違ったりする。だから成長する。



NO.285 2021年9月 明治北小学校

認め合い

同じものを見ても見る方向が異なれば違って見える。だから、相手の考えを否定しない。



NO.286 2021年9月 明治北小学校

鍛え合い

手を挙げる人が増えてくる。学ぶ空気を創ることで、みんなが競い合い成長する。



NO.287 2021年9月 明治北小学校

たくましく

前に出て説明するのは勇気がいる。でも、聴いてくれる友達と見守ってくれる先生がいる。だから、怖くない。